

	身に付けさせたい基礎基本	児童の実態と改善プラン
国 語	- ひらがなを書き、かたかなを読むことができる。 - 新出漢字（80字）が読める。 - 年間30冊以上、本を読むことができる。	- 濁音、半濁音、拗音、促音、助詞を文の中で正しく使える児童は、半数程度である。言葉集めや言葉遊び、短文作りの課題を繰り返し行い、正しく表記できるようにする。かたかなの指導では、スクールタクト等の課題を用いて、使用する場面の定着を図る。 - 漢字の指導では、漢字ノートを活用し、読み方、筆順、使用法を指導する。定期的に漢字テストを行う。家庭学習にも漢字練習や教科書の音読を取り入れ、定着を図る。 - 読書の時間を週に1時間程度設けるとともに、読み聞かせを行い、本への興味を高める。
算 数	1けたのたし算・ひき算ができる。	繰り上がり、繰り下がりのない計算は、たし算とひき算の違いを理解して立式し、ブロック等を使いながら9割の児童が答えを求められるようになっている。今後は、繰り上がり、繰り下がりの計算の仕方を考えさせ、ブロック操作や反復練習や計算カード、算数音読等で基本的な計算の力を高める。また、一人1台端末を活用しての問題演習や操作を通して理解を深めていく。
生 活	発見カードに気付いたことや感想を書ける。（2文以上）	観察や発見の観点やモデルを示し、カードに図や言葉で記録することができた。今後日常的に自然と触れ合う活動を取り入れ、それぞれの気付きや感想を持てるようにする。自然の写真を一人1台端末を用いて撮り、互いに見せ合うことで、気付きを共有させ、考えを広げたり深めたりできるようにする。
音 楽	身近な楽器で、簡単なリズム打ちができる。	- リズム遊びや打楽器のリズム打ちを楽しむことができた。リズム作りやお互いに聴き合ったり、合わせたりする活動を通して、リズム感覚を身に付けられるようにする。鍵盤ハーモニカでは、タンギングや運指を気にしながら演奏することができるよう指導する。 - 歌唱では、曲想を感じ取って歌うことや、友達と声を合わせて歌う活動を楽しむことができるようにする。
図画工作	のりやはさみを使って、簡単な工作ができる。	手順を分かりやすく示すことで複数の作業（描く、切るなど）を組み合わせて作品ができた。今後、道具の安全かつ効率的な使い方を指導しながら、見通しをもって取り組めるようにする。
体 育	自分のペースで2～3分走り続けることができる。	50メートル走やリレー遊びなどで、全力で走ろうとする児童が多く見られた。個人差が大きいので学習カードや一人1台端末を活用して意欲的に運動させる。 - 持久走月間などを通して、十分に活動時間を取り、持久力を高めていく。
道 徳	よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うことができる。	教材を手掛かりに、子供たちの実体験を振り返る機会を設ける。進んでよいことができたことを思い出しながら、よいこと、悪いことを学級全体で考えられるようにする。

令和6年度 授業改善推進プラン 2年生 小金井第二小学校

	身に付けさせたい基礎基本	児童の実態と改善プラン
国 語	• 簡単な詩や文の音読ができる。 • 新出漢字（160字）が読める。 • 年間30冊以上、本を読むことができる。	• 毎日の音読練習の宿題を通して、9割の児童が文のまとまりで音読できるようになってきている。 • 新出漢字は、9割の児童が読めるようになっている。習った漢字の定着を図り、日常生活でも活用できるように、デジタル教材などを使った反復練習やテストをしていく。新出漢字の音読を、漢字を習う前から続けてすらすら読めるようにする。 • 読書好きの児童が多く、たくさん本を読んでいる。 • 読み聞かせや本の紹介をし、本への関心を高める。読書記録カードを作り、読書貯金をして読書への意欲を持たせる。また、あらすじや感想を書いたり、交流したりする活動を通して、自分の考えを伝えることができるようにしていく。
算 数	• かけ算九九をすべて言える。	• かけ算音読カードを活用し、家庭でも暗唱練習するよう課題を出し、定着を図る。また、一人1台端末を活用した反復練習や繰り返しテストを行い、習得できていない児童を把握し、個別指導で支援する。また、問題解決型の学習を通して、習ったことを様々な場面で活用できるようにする。
生 活	• 植物に関心をもって育て、その生長に気付くことができる。	• 野菜の育て方を本で調べ、それをもとに世話や観察を行い、興味・関心を高めた。9割の児童が関心をもち、調べたり育てたりすることができた。観察では、国語の「かんさつ名人になろう」の学習を生かし、観点を示して違いにも目を向けさせる。
音 楽	• 2拍子、3拍子、4拍子を感じて演奏することができる。	• ボディパーカッションやリズム遊び、リズムづくりなどの表現活動を行い、拍を感じることができるようになった。打楽器を用いたリズム遊びも取り入れ、9割の児童がリズム打ちをすることができた。 • 互いに一人1台端末を使用して演奏の動画を撮って見合ったり交流したりすることで意欲を高める。
図画工作	• 水彩絵の具を使って、混色、重色ができる。	• 絵の具の使い方は、大体の児童が理解している。題材を工夫することで、混色や重色の楽しさを味わわせながら、色や抽象的な発想を広げていくことができるようにする。また、作品を撮影したり実際に見合ったりすることで意欲を高める。
体 育	• 縄跳びの前とびが10回以上できる。	• 1年生の時に練習に意欲的に取り組み、いろいろな技に挑戦する児童が多くなった。意欲・関心に個人差が大きいので学習カードや一人1台端末を活用して跳び方のコツをつかませ、意欲をもたせる。
道 徳	• 友達や家族に温かい心で接し、親切にできる。	• ワークシートなどを通して、自分の生活や経験を振り返ることができるようにする。

	身に付けさせたい基礎基本	児童の実態と改善プラン
国 語	- 複数の文章の音読ができる。 - 新出漢字（200字）が読める。 - 年間30冊以上、本を読むことができる。	- 教科書や音読集を活用し、さまざまな形式の文章等を読む機会を設ける。 80%以上の児童が漢字を読めている。授業の初めに漢字ドリル音読をするなどして、日常的に漢字に触れさせる。 - 図鑑や絵本ばかりを手にする児童もいる。週に1回は図書の時間を確保し、様々なジャンルの本に触れられるようにする。
社 会	- 四方位が分かる。 - 地図記号の意味が分かる。	80%以上の児童が四方位を覚えている。教室掲示をして定着を図る。 - 日常生活で触れる機会が少なく、定着しづらい。地図帳やブラウザ上でのクイズを活用して、地図記号の定着を図る。
算 数	2回くり下がりのあるひき算ができる。 - あまりのあるわり算ができる。	80%以上の児童が正確に計算することができている。反復練習を行い、正確さを高めていく。 - 九九がすばやく答えられない児童がいる。授業の帯活動として百ます計算やフラッシュカードを取り入れ、基礎を身に付けさせる。
理 科	- 太陽の動きとはたらきが分かる。 - 昆虫と昆虫でないものの区別ができる。	- 実感を伴った理解ができるように、日常的に話題にして興味をもたせたり、ICT教材を活用してイメージしやすくしたりする。 90%以上の児童が昆虫と昆虫でないものの区別ができている。今後も虫を捕まえて観察する活動を取り入れていく。
総 合	- テーマを決めて調べることができる。 - 原稿を見ないで30秒の発表ができる。	- 児童にテーマの例を提示して、自分で選べるようにする。調べるツールとして一人1台端末が活用できるように、ローマ字入力の練習と引用の仕方について1学期から学習を始める。 - 国語科と関連させて、「特に伝えたいこと」を意識させる。
音 楽	ソプラノリコーダーの構え方、息の使い方が正しくできる。	リコーダーを楽しみながら演奏している児童が多いが、中には苦手意識をもっている児童もいるため、児童が演奏したいと思えるような親しみやすい曲や短く取り組みやすい曲を用意し、達成感をもたせることを大切にする。個人やグループでの発表する時間を増やし、演奏を聴き合うなどの学びの場をもつようにする。正しい運指や姿勢、指の押さえ方の指導では、イラスト・映像・教師の模範演奏など教示の仕方を工夫する。
図画工作	- カッターナイフを正しく使うことができる。 - 身近にある作品などから自分の見方感じ方を広げることができる。	- 安全面を十分配慮した上で活動を行う。作品制作を通して、正しいものの使い方を理解し、自身の技能に結び付けていく。 - 鑑賞を通して、自分の見方、感じ方を広げ表現を豊かにする。
体 育	柔軟運動や体を支える運動に継続して取り組み、体を強く柔らかくすることができる。	柔軟性や体を支持する力は、児童によって差が大きい。運動のポイントを指導し、継続的に取り組むことで効果を高められるようにする。
外国語活動	外国語をつかって様々なあいさつができる。	デジタル教材を活用して、世界各国の「こんにちは」に親しみ、外国語に興味をもつことができた。授業の冒頭で自分の調子を英語で答える活動に取り組み、自然と話せるようにしていく。
道 徳	正しいと判断したことは、自信をもって行うことができる。	- 役割演技などの活動を取り入れたり、心の数直線を活用して心を可視化したりすることで、価値についてじっくりと考えられるようにする。 - 展開後段で自分のことを振り返る時間を十分に確保する。

令和6年度 授業改善推進プラン 4年生 小金井第二小学校

	身に付けさせたい基礎基本	児童の実態と改善プラン
国 語	・新出漢字新出漢字（202字）が読める。 ・一人1台端末でのローマ字入力を、文字を書くと同様に行うことができる。 ・年間30冊以上、本を読むことができる。 ・説明文や物語文の音読ができる。	・新出漢字の読みは9割以上の児童が習得している。週1回程度のミニテストで、漢字の読み書きの習熟を図る。 ・国語授業だけでなく、日常的に一人1台端末を活用する機会を多く設けることで文字入力がスムーズに行えるようにする。 ・進んで読書が行えるよう「読みかけの一冊」を常に持たせる。 ・場面の移り変わりや登場人物の心情を、叙述をもとに想像し、表現できるようにする。 ・家庭学習で毎日音読をする機会を設ける。
社 会	・小金井市と東京都の位置が分かる。 ・資料の情報を読み取ることができる。	・授業中の地図帳の活用によって、小金井市や東京都の位置は9割以上の児童が習得している。また、東京都に隣接している県名も覚えている。 ・グラフや表などの資料を適宜提示し、目にする機会を確保する。
算 数	・わり算の筆算ができる。 ・角の大きさを測ることができる。 ・平行・垂直がかける。	・ワークテストでは1桁のわり算の筆算は8割程度、角の大きさは7割程度の到達度であった。思考・判断・表現の問題の到達度が低い傾向にある。関連する単元を指導する際には復習から取り組み、既習事項の定着を図る。また、知識を活かす問題にも取り組ませる。 ・図形の学習では、観察や構成などの活動を通して要素に着目し、特徴を捉えさせる。
理 科	・温度計の測り方が分かる。 ・植物の育ち方が分かる。	・観察や実験の結果から、違いや同じところを比べながら、自然の事物、現象について理解していた。 ・既習の内容や生活体験を基に、根拠のある予想や仮説を発想させることで、問題解決能力の育成を図る。 ・PC端末を活用して定期的に復習に取り組み、理解を一時的なものに留めず、確かな定着に繋げる。
総 合	・体験したことから、自分ができることについて考えることができる。 ・原稿を見ずに1分の発表ができる。	・社会科と関連して調べたい都道府県を決めてまとめる活動を行った。一人1台端末を活用して情報を収集・選択し、自分の考えをまとめた。 ・2学期以降、プレゼン資料を作成するとともに発表する機会を設ける。
音 楽	・リコーダーで、低いドからサミングで（高い音を出す方法）でミ、ファまで吹ける。	・ハ長調の楽譜でも苦手意識があり、階名唱が難しい児童や音高感をつかめない児童が多い。歌唱では、音程をつかむこと、伴奏に合わせて響きのある歌声で歌うことに課題がある。器楽では、リコーダーの運指を正しく覚えられていない児童や楽器の基本的な使い方を理解していない児童も学級に半数ほどいる。 ・歌唱では音程の取りやすい短めの曲を歌詞だけではなく、音名で歌ったり、楽譜の音符の動きを指で追うなど常時活動で身に付く活動を繰り返し、パターンを増やしたり変えたりしながら取り組む。ハンドサインを取り入れて音高感をつかませる。 ・器楽では、一人1台端末を使って、手本動画やパワーポイントを使った楽曲提示など視覚的に見やすい教材を工夫する。
図画工 作	・制作手順を考えて、段ボールカッター、電動糸鋸を正しく使うことができる。 ・身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げることができる。	・安全面を十分配慮した上で、制作手順を考え、用具を操作できるようにする。 ・鑑賞を通して、自分の見方、感じ方を広げ表現を豊かにする。（2学期にはけの森美術館鑑賞予定）
体 育	・短縄跳びにおいて5種類以上の幅広い技ができる。	・年間指導計画に基づいて、縄跳びの学習時に、一人1台端末の動画機能を活用し、視覚的に技のポイントを理解させる。
外国語 活動	・外国語をつかって自分のことを伝えることができる。 ・外国語で簡単なあいさつをすることができる。	・学んだ文型を使って、友達に対して、コミュニケーションをとることができていた。 ・2学期以降も、会話の機会を確保し、自分の好きなものを簡単な会話文で伝えることができるように繰り返し話す場を設定する。
道 徳	・相手のことを思いやり、進んで親切にすることができる。	・主人公の行為を支える心の内面をたずねることで、主人公の判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えることができていた。今後も、自分自身の経験の振り返りに十分な時間をとり、じっくり考えられるようにする。

	身に付けさせたい基礎基本	児童の実態と改善プラン
国 語	・新出漢字（193字）が読める。 ・年間30冊以上、本を読むことができる。 ・わからない言葉は自分で調べられる。	・モジュール学習や宿題での取組を通して、漢字テストの正答率8割を目指す。 ・分からない言葉や漢字について、国語辞典や一人1台端末のアプリを活用し、自分で調べられるようにする。
社 会	・都道府県の位置と名前が分かる。	・単元の内容で出てくる地域について、日本の中での位置を地図帳や一人1台端末を活用しながら覚えさせていく。
算 数	・小数のわり算の筆算ができる。 ・公倍数、公約数が分かる。	・授業での練習問題や効果的な宿題に取り組みせたり、一人1台端末を活用して各自の課題に応じた練習時間を確保したりして、習熟を図り、平均正答率7割を目指す。
理 科	・生物の誕生のしくみが分かる。 ・顕微鏡の使い方が分かる。	・「理科の学び方」の手順に沿って学習を行う。問題解決に向けての過程を大切にし、予想や仮説を立て解決の方法を発想させる。 ・顕微鏡の使い方や注意事項を事前に指導し、2人1組で協力してできるようにする。
総 合	・調べたことを通して、自分の考えをもつことができる。 ・原稿を見ないで1分30秒の発表ができる。	・自分の考えをまとめる学習を行い、引用した部分と自分の考えの部分を分け、文の構成を立てられるようにする。 ・一人1台端末を活用し、撮影した写真を活用したり、インターネットの文献を引用したりできるようにする。
音 楽	・正しい音程で響きのある歌声で歌うことができる。	・発声の仕方や周りとの調和する歌声、正しい音程で歌うことに課題がある。発声練習を常時活動として取り入れ、自然に響きのある声、周りとの調和する歌声を出せるようにする。 ・伴奏音源の工夫で無伴奏、トーンチャイムの単音、ピアノ伴奏などバリエーション豊かに合わせられるようにする。 ・歌唱や器楽の学習では個人での活動を基本としながらペアやグループ活動も充実させ、音を媒介にしたコミュニケーションを大切にする。人間関係が一定にならないように楽曲や練習方法によってグルーピングし、全員が演奏しやすい意見を言いやすい雰囲気作りも大切にする。
図画工作	・用具や材料の良さを生かして表現活動を行うことができる。 ・身近にある作品などから自分の見方感じ方を深めることができる。	・安全面に十分配慮した上で、作品制作を通して、材料や用具の効果や可能性を確かめ、それを生かして使うことができるようにする。（環境設定の工夫） ・親しみのある作品などから自分の見方、感じ方を広げ表現を豊かにする。（鑑賞の時間の設定）
家 庭	・なみぬい、玉結び、玉どめができる。 ・コンロや包丁の取り扱いが分かり、安全に調理をすることができる。	・動画を活用したり、個別に指導したりすることで、全員が達成できるようにする。また、小物作りを通して、楽しんで手縫いの基本を身に付けられるようにする。 ・お茶を淹れたり、簡単な調理をしたりする経験を通して、家庭での実践を促し、調理の流れや安全な器具の取り扱いが分かるようにする。
体 育	・自分のペースで5～6分走り続けることができる。	・自分のペースを把握し、同じ速さで走ることができるよう継続的に指導する。
外国語	・外国語をつかって簡単な会話をすることができる。	・簡単な英語での会話の機会を設定し、積極的に発表ができるようにする。デジタル教科書を活用し、映像を用いて英語での表現に慣れ親しむことができるようにする。
道 徳	・誠実に責任のある行動をとることができる。	・誠実を主題とする授業を行い、日常生活での自身の行動について考えられるようにする。 ・ワークシートや一人1台端末のスクールタクトを使い分け、自身の考えを表現しやすいツールを使って、お互いの考えを交流し合う。

令和6年度 授業改善推進プラン 6年生 小金井第二小学校

	身に付けさせたい基礎基本	児童の実態と改善プラン
国 語	・新出漢字（191 字）が読める。 ・年間30冊以上、本を読むことができる。	・大半はできているが、読めない児童も若干いる。繰り返し練習し小テスト等で定着を図る。 ・図書の時間を確保することが難しいが、さくらんぼの会の読み聞かせや親子読書、夏休みの読書等の機会を有効活用し、読書啓蒙を行う。
社 会	・時代の大まかな流れが分かる。	・歴史への興味や関心は高く、すすんで調べたりまとめたりする児童が多い。時代と時代の繋がりや出来事の背景、現代との関わり等を考えられるようにして、時代の大まかな流れを捉えられるようにする。
算 数	・分数計算ができる。（約分・通分） ・四則混合計算ができる。	・四則計算に加え、通分や約分など、個人差がみられる。習熟度別の指導を行う中で、それぞれの力量に合わせた問題を解かせることで、個に依りて計算力を高められるようにする。
理 科	・燃焼の仕組み、植物や人体の構造が分かる。 ・酸とアルカリの区別ができる。	・問題解決の過程を軸に指導を繰り返し、燃焼のしくみや植物の体について実験を通して理解できるようにした。また、単元の指導期間は人体模型を教室に置くなどして、日常的に人体の構造に興味をもてるようにしている。 ・水溶液の性質についても、酸とアルカリの区別について、身近な事例を取り入れながら、実験を通して理解を図れるようにしていく。
総 合	・自分の考えを分かりやすく伝えることができる。 ・原稿を見ないで2分間の発表ができる。	・たてわり班活動においては、下級生が楽しめるように活動を工夫し、分かりやすく、端的に遊び方などを伝えようとしている。 ・2学期には、清里林間学校の報告会や学習発表会を行う。自分の考えや思いなどをまとめ、相手を意識して発表できるよう指導する。
音 楽	・各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり演奏したりできる。	・ほとんどの児童が響きのある歌声や楽器の特徴を生かした演奏方法で周りの音を聴きながら演奏することができるが、児童自らが演奏表現に対する思いや意図をもつこと、楽曲の良さや自分たちの演奏の課題を見出すことに課題がある。 ・自身の演奏を一人1台端末で録音し、客観的に聴く機会や友達同士で聴き合う活動を随時、取り入れて互いに振り返りができるようにする。また、一人一人の思いや意図、工夫点などをワークシートや一人1台端末を使って全体で共有する場を設ける。
図画工作	・用具や材料の良さを生かして表現活動を行うことができる。 ・身近にある作品などから自分の見方や感じ方を深めることができる。	・安全面に十分配慮した上で、作品制作を通して、材料や用具の効果や可能性を確かめ、それを生かして使うことができるようにする。（環境設定の工夫） ・親しみのある作品などから自分の見方、感じ方を広げ表現を豊かにする。（鑑賞の時間の設定）
家 庭	・ミシンを使って直線縫いができる。 ・栄養バランスを考えて、一食分の献立を立てることができる。	・ミシンの基本的な取り扱い方を繰り返し指導したり、視覚的に捉えやすいポスターを掲示したりしながら、9割の児童が一人でミシンの直線縫いができるようにする。 ・五大栄養素を視覚的に提示し、調理実習や家庭での経験を基に考えさせたり、食材カードを活用させたりして、興味をもって栄養バランスを考えられるようにする。
体 育	・縄跳びの二重跳びが5回以上できる。	・運動に対する意欲や関心は高い。一方で、技能面、特に巧緻性の点においては個人差が大きい。一人1台端末による模範動画の視聴や仲間同士での学び合いによって、技能だけでなく思考力も高められるようにする。
外国語	・外国語をつかって進んでコミュニケーションをとることができる。	・意欲的に取り組める児童が多いが、同時に個人差も大きい。また、自分の考えていることを書くことはできるが、それを英語で表出させることが苦手な児童も見られる。児童相互で学び合ったり、得意な児童にフォローさせたりすることでコミュニケーション能力をさらに高めたい。
道 徳	・誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることができる。	・様々な価値項目を扱う中で、自分の日常生活を振り返らせることで、日々の生活を見つめられるようにしている。道徳に限らず、学級活動などとも横断しながら、仲間とのよりよい共同生活が送れるように指導していく。